

平成30年度

世界遺産登録推進講演会



演題

「水戸藩校弘道館の歴史と教育 —創設者 徳川齊昭が目指したもの—」

講師：^{こあくつ}小坏のり子氏（茨城県水戸土木事務所借楽園公園課（弘道館事務所）主任研究員）

講師プロフィール

昭和43年水戸市生まれ。同志社大学卒業後、茨城県立歴史館嘱託職員、自治体史編纂などに携わり、平成17年から弘道館事務所に学芸担当の嘱託職員として勤務。現在は主任研究員。水戸市立博物館協議会員などを務める。

共著：『近世日本の学問・教育と水戸藩（Ⅰ～Ⅲ）』（水戸市教育委員会・水戸市）

日時

平成30年

11/20 (火)

19:00~20:30 (18:30開場)

会場

パトリア日田
小ホール

咸宜園を
世界遺産に!

入場
無料

(申込不要)

先着300名



〈廣瀬淡窓肖像〉

日田市は、「近世日本の教育遺産群」として、茨城県水戸市の藩校「弘道館」、栃木県足利市の「足利学校」、岡山県備前市の郷校「閑谷学校」と共に、私塾「咸宜園」の世界文化遺産登録を目指しています。

主催 日田市・日田市教育委員会

問合せ先：日田市教育庁世界遺産推進室（咸宜園教育研究センター内）
〒877-0012 日田市淡窓2丁目2-18 TEL・FAX (0973) 22-0268